

INFORMATION & OTHERS

モトクロスはライダーとお客様が主役です！

久しく太陽を見ていないので、例えば酷暑になっても夏到来の強い日差しを期待したいところですが、予報では曇りか雨。そんな「藤沢スポーツランド」は、全日本開催の度に搬入、整地されるサンドが特徴のコースです。砂浜を走ることをイメージすれば想像できますよね。前に進むのびとにかく

鳥谷部選手の大メカニックを担当している材藤大選手ですが、鳥谷部選手は意外と大人気なライダーです。その両面を上手にコントロールしていると思えます。ここ藤沢はエンジンが回るだけ、雨になれば暑くなります。スタートが重く、雨に濡れると滑ります。ライダーの消耗も激しくなり、前回のSUGOのレースでは当然ですが、1-2コーナーの見極めが重要なポイントになってくると思います。その辺りも注目してください。

変。そこを数十馬力のマシンが掘り返すので、路面はどんどん荒れて変化します。見た目と同じでもライダーにとっては毎回違うコースに挑むようなもの。ある意味オフロードの醍醐味と言っていていいでしょう。アクセル全開の加速とスピードをどう維持するか、ライダーたちのテクニクにまずは注目してください。

全日本会場の中で抜群のロケーションを誇るのもこのコースの大きな特徴。IA 第1ヒート開始前にはスタンド前のお立ち台で選手紹介が行われるので、出陣するライダーたちに声援を送ってから、好みの観戦ポイントに移動するのもアリです。

一か所に陣取って全体が見たいならスタンド席か、ビッグテーブルジャンプ正面の土手が、コースサイドでライダーに声援を送るならスタンドから左手の林の向こうがオススメです。



次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、今年からIA1が白地に黒文字に変更となりました。逆に黒字に白がIA2、青地に白がIB、IA1と同じ白地に黒で車体の小さなマシンがLMX、以下ジュニアクラスは赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となります。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑、KTMがオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1の成田選手とIA2の横山選手が使用する赤地のゼッケンは、レッドプレートと言ってポイントランキングトップの証です。

状況放送がよく聞こえないという方、予選、決勝を通じ、スマートフォンで「CHECKKLAP」というサイトに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることが出来ます。ここまで読んで????となってしまう方、入場の際にももらった公式プログラムをもう一度見直してみてください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プログラムのエントリーリストを見比べると、徐々にどれが誰だか分かるようになってくるはず。外見でライダーの区別ができるようになると、凸凹県出身のXX選手は△色のマシンでゼッケンは□色の○番…と逆引きもできて、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

パドック巡りも観戦の大きな楽しみの一つです。

土曜日は各クラスの練習走行、予

選、IB Open 決勝。日曜日は練習走行、決勝とレースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず〜とレースを見続けていたらさすがに疲れます。

もちろんお昼休みもあるんですが、イベントブースやパドック巡りをぜひ楽しんでください。走行前のライダーとトイレでばっかりとか、走り終えたライダーをパドックに訪ねてポスターにサインをもらうとか、レース以外にも楽しみはいっぱいあります。

また、各メーカー、チーム毎にトップライダーのサイン会やプレゼントが貰えるじゃんけん大会など様々なイベントや展示を用意してくれています。

ヘルメットやタイヤメーカーのサービスブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくないし、特性のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間ではなければ必ず対応してもらえます。ちなみにメーカー毎に配布している応援用の旗は、持ち帰って2枚重ねて縫い合わせると、かわいい巾着袋が作れると近頃評判です。

バイク好き、メカ好きな方は、各ワークスチームにスタンバイするファクトリーマシンにも注目。いずれも先行開発車両で、全日本でしか見ることができないスペシャルマシンの数々です。テントに2台のマシンが置いてあったら、じっくりと見比べてください。ブリヂストンとダンロップ、ショーワとKYB、タイヤとサスペンションの違いはすぐにわかるはず。それ以外にも微妙にマシンの仕様が違ってたりするはず。ワークスチームは、将来的な開発テストとライダーの好みに合わせた作り込みを同時進行させながら、マシンの性能を高めています。その違いに気づいたら、あなたのメカセンスはプロのエンジニア並みです。

ライダーのコスチュームにも注目。派手なデザインばかりに目が行ってしまいますが、転倒などアクシデントが多い競技なので、安全への配慮も怠りません。「アレ、何だろう?」と思ったら思い切ってライダーやスタッフさんに質問しちゃいましょう。みんな気さくに答えてくれるはず。もし「それはちょっと答えられません。」と言われたら、それこそ大きな秘密が隠されているに違いありません。MXING & MC Square 木田 淑

せん。走り終わった後の洗車から次のレースへの準備、片付けまで、メカニックさんの仕事ぶりも、あまりの手際よさに見ていて感心しちゃうと思います。そんな全日本ならではのマニアックな楽しみ方もぜひ満喫してください。

今すぐ知りたい。MXの表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートをリアルタイムで手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが、今年もやってます。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをご提供中です。



編集後記

久しぶりに太陽が顔を見せてくれたのも束の間。締め切りのデスクの向こうは今日も曇り空です。ニュースでは台風の接近が伝えられていて、今週末の天気が気になります。基本雨でも雪でも開催されるモトクロスですが、レースの開催委と運営には文字通り裏方さんの大変なご苦労があります。全国から集まって来るライダーたちのためにピカピカに整備されたコース。観戦エリアやコースサイドの草刈りだって大変です。

ちなみにここ藤沢スポーツランドは、一関市と町が保有する全国でも希な公営のコースですが、実際の管理は地元有志が汗を流して準備してくれています。みなさんモトクロスと言うこのスポーツが大好きで、大半がボランティア同然で協力してくれています。懸命に走るライダーもそうですが、モトクロスを盛り上げるために尽力してくれている、裏方さんたちにもぜひ声援を送ってください。

全日本モトクロス選手権は、この大会が終わると約2ヶ月という長いインターバルに入ります。シリーズ戦が再会されるのは9月の奈良。その後10月にシーズン2度目の九州大会があって、最終戦はここからすぐのスポーツランドSUGOで行われます。今回頑張ったライダーたちの中で、シリーズタイトルという栄冠を手にするのは誰か、ぜひその感動の瞬間を見届けに来てください!!

MXING & MC Square 木田 淑



制作・発行/MC Square 木田 淑 〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62 Tel. & Fax. 050-1536-5147 E-mail: kida@mxing.com HP:http://www.mxing.com

出力・印刷/東京カラー印刷株式会社 〒120-0024 東京都足立区千住開屋町5-27 Tel. 03-5284-1173 Fax:03-5284-1174 HP:http://www.icpc.co.jp 全日本モトクロス選手権大会発行・無料

PREVIEW-FUJISAWA SPORTS LAND

V12へ向かって驚異的な強さをアピールし続ける#114成田 亮と必死で阻止しようと挑むライバルたち。シーズン後半最初の勝者となるのは、果たして誰だ!? Photo/K.Kida

全日本モトクロス選手権シリーズ第5戦東北大会は7月20~21日に岩手県一関市藤沢町の藤沢スポーツランドで開催される。全8戦の短期決戦となったシーズンはここから早くも後半戦へ。目下、IA1クラスは最多勝、最多タイトル共に前人未踏の記録を更新し続ける成田 亮が、IA2は初タイトルへと突き進む横山選手がポイント争いをリード。しかし戦いはこれからだ。大混戦のIB Open、レディースクラス共に本当の戦いがここから始まる。

絶好調の大ベテラン成田ライバルの追撃は果たして!?

ホンダのホームでチームメイト同士が激しい火花を散らした開幕戦九州大会。結果はタイトル奪還をめざす山本鯨(#400)がスタートから1度もトップを譲らぬ走りでも二ヒートに圧勝。しかし第2戦関東大会では、ディフェンディングチャンピオン成田 亮(#114)が山本との激闘を制して今季初勝利をマーク。

横山を筆頭に次々と勝者が入れ替わる IA2!

昨年タイトルを争った古賀太基(#922/ホンダ)と能塚智寛(#33/ホンダ)が共に海外に活動拠点を移動したため、今年も王者不在となったIA2クラスは、優勝候補の筆頭小川孝平(#912/カワサキ)までが開幕直前の怪我で長期欠場を強いられ混迷が深まった。そんな中で、一躍存在をアピールしたのが横山 遥希(#386/カワサキ)だ。アメリカ仕込みのライディングでアグレッシブな戦いを見せる横山は、開幕戦でパーフェクトVを達成すると、第2戦でも総合優勝を飾り一気にタイトル争いの主役へと躍り出た。

しかし第3戦中国大会では大城魁之輔(#40/ホンダ)と大倉由揮

モトクロス観戦を楽しむポイント
一、好きなライダーを一人見つけておく。
二、横一線、ド迫力のスタートを見逃すな!!
三、コースサイドから大声で応援しよう!!

(#36/ヤマハ)が、第4戦 SUGO で鳥谷部晃太(#37/ヤマハ)がA級初優勝を飾り、1年間のブランクを経て復帰してきた平田 優(#81/ヤマハ)と共に横山を追撃する。この流れに続きたい内田篤基(#38/スズキ)や道脇右京(#43/ホンダ)ら新世代ライダーたちにも注目したい。

本田が再び単独トップ混戦必至のLMXクラス

念願の初タイトルを手にした畑尾樹璃(#1/ホンダ)が世界選手権挑戦を開始したことで、こちらもチャンピオン不在となったレディースクラス。そんな中、圧倒的な速さで開幕戦を制したのが

2019 全日本モトクロス選手権シリーズ スケジュール

第1戦	九州大会	4月13~14日	熊本県/HSR九州
第2戦	関東大会	5月11~12日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第3戦	中国大会	6月1~2日	広島県/グリーンパーク弘楽園
第4戦	SUGO大会	7月6~7日	宮城県/スポーツランドSUGO
第5戦	東北大会	7月20~21日	岩手県/藤沢スポーツランド
第6戦	近畿大会	9月14~15日	奈良県/名阪スポーツランド
第7戦	九州大会	10月12~13日	熊本県/HSR九州
第8戦	MFJ GP	10月26~27日	宮城県/スポーツランドSUGO

全日本モトクロス選手権 第5戦 東北大会 開催おめでとうございます。

HONDA YAMAHA Kawasaki logos and Revs Your Heart slogan.

携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。

Arai HELMET logo and text: 安全性能の追求! 株式会社アライヘルメット

IRIDING SPOT logo and text: PERFORMANCE PRODUCTS. モーターズスポーツからツーリングまでバイクライフをサポートする (有)ライディングスポット

Technix suspension service logo and text: WWW.technix.jp